

## アミロイドβ測定用の採血と保管方法に関する推奨プロトコル

### ● はじめに

本資料は、血漿試料のアミロイドβ測定に際して、下記論文\*<sup>1</sup>の記載内容に準じたプロトコルです。詳細は、別途お問い合わせください。

\*<sup>1</sup> *Nature* volume 554, pages 249-254(2018)

### ● 準備

#### ➤ 用意するもの

- ・ 採血管：抗凝固剤（EDTA-2Na）入り
- ・ 保管チューブ：容量 2.0ml（キャップ付き）
- ・ フリーズボックス
- ・ 遠心機
- ・ 超低温冷凍庫(-80℃)

#### ➤ 注意事項

- ・ 9:00～15:00 の間に採血を行ってください。
- ・ 食事制限はありません。

### ● 手順

#### ➤ 採血と遠心分離

1. 上記採血管に採血してください。
2. 2,273 x g で 5 分間遠心してください。採血から 5 分以内に遠心を開始してください。これが難しい場合は、血液を氷上で一時保管しておき、30 分以内に遠心を開始してください。

#### ➤ 保管方法

3. 遠心終了後すぐに、血漿を保管チューブへ 300 μL の分量で移してください。少なくとも 2 本は分注してください。
4. 保管チューブをフリーズボックスへ入れ、超低温冷凍庫(-80℃)で凍結保管してください。

こちらは、推奨プロトコルの一部抜粋版（Web 掲載用）であり、ご準備と保管時のポイントのみを記載してあります。すでに採血済みの方、及び実績のある備品など詳細に関しては、お問い合わせください。